資料４

八戸市体育施設整備に関する基本方針の改定について

１　八戸市体育施設整備に関する基本方針の概要

（１）策定年月日　平成 31 年３月 29 日

（２）策定の目的　体育施設を総合的、かつ、計画的に管理するため

（３）基本方針の概要

・基本方針１　八戸市体育館の建て替えに向けた基本構想を早期に策定する。
・基本方針２　市民が安全に利用できるよう予防保全の実施と長寿命化を図る。
・基本方針３　既存施設の有効活用・統廃合による総量の維持・適正化を図る。
・基本方針４　市民のニーズや時代に適合するような施設の質の向上を図る。
・基本方針５　スポーツによるまちづくりの視点による施設整備の推進を図る。
・基本方針６　長根公園内の体育施設の移転を見直して公園の整備を行う。

（４）各施設の管理に関する基本方針の主なもの

①長根公園

・八戸市体育館
　既存施設を使用しながら、公園内の別な場所に建て替えを行う。また、建て替えの際は、他の体育施設の機能集約を検討する。

・武道館
　他都市を例に建て替え後の体育館への機能集約を検討する。また、オリンピックメダリストの顕彰方法については別途検討する。

・水泳プール
　継続利用を基本とするが、体育館の建て替えにあわせて移築又は機能集約を検討する。

・スポーツ研修センター
　既存プールの継続利用の間は同施設も継続して利用するが、長根屋内スケート場内に会議室機能があり、スポーツ研修センターの機能を補完できるため、プールが移築又は機能集約される場合は、それにあわせて廃止を検討する。

②東運動公園

・東体育館
　指定避難所としての機能を有していることから、優先的に改修を行う。また、改修する際は、冷房設備の導入やバリアフリーへの対応を検討する。

③南部山健康運動センター

・体育館
　指定避難所としての機能を有していることから、優先的に改修を行う。また、改修する際は、冷房設備の導入やバリアフリーへの対応を検討する。

・温水プール
　プールの事故は、生命に関わる重大な事故につながる恐れがあるため、体育施設の中でも維持管理に特に配慮する。

④新井田公園

・新井田公園テニスコート
　人工芝コートへの改修を検討し、機能の向上に努める。

⑤南郷体育施設

・南郷体育館
　指定避難所としての機能を有していることから、優先的に改修を行う。また、改修する際は、冷房設備の導入やバリアフリーへの対応を検討する。

・南郷屋内温水プール
　プールの事故は、生命に関わる重大な事故につながる恐れがあるため、体育施設の中でも維持管理に特に配慮する。

２　改定の理由

令和４年 11 月に、八戸市体育館の建て替えに関する基本的な考え方をまとめた「八戸市体育館の建て替えに関する基本構想」を策定、また、令和６年２月には、基本構想で規定した建て替えに関する基本的な考え方に基づき、「八戸市体育館の建て替えに関する基本計画」を策定しており、その内容との整合性を図るため、主に体育館及びプールの整備に関する基本方針について、所要の改定を行うもの

資料４

３　市内体育施設の利用者数

（１）長根公園　　単位：人

		Ｒ元年度	Ｒ２年度	Ｒ３年度	Ｒ４年度	Ｒ５年度
八戸市体育館	アリーナ	51,553	31,596	31,348	44,373	52,487
	トレーニング室	99,610	62,045	58,143	72,003	88,791
	卓球室	24,972	13,176	12,412	17,909	22,366
	会議室	1,618	546	910	1,300	1,461
	合計	177,753	107,363	102,813	135,585	165,105
野球場		19,140	8,067	13,395	14,475	13,050
水泳プール		7,836	6,859	7,570	4,930	9,936
武道館	レスリング場等	61,982	44,062	40,686	49,736	57,555
	会議室	1,941	840	987	2,165	2,510
	合計	63,923	44,902	41,673	51,901	60,065
相撲場		388	10	468	555	268
弓道場		11,245	9,033	7,418	10,701	11,667
アイスホッケーリンク		7,047	7,715	4,611	5,709	5,505
屋内スケート場	スケートリンク	42,145	33,988	32,595	42,638	45,089
	中地	5,287	15,931	18,935	25,322	25,891
	会議室	3,343	10,132	11,714	15,205	21,302
	トレーニング室	806	3,708	3,492	2,920	5,205
	合計	51,581	63,759	66,736	86,085	97,487
スポーツ研修センター		15,224	12,125	7,236	10,040	10,650
合計		354,137	259,833	251,920	319,981	373,733

（２）東運動公園　　単位：人

		Ｒ元年度	Ｒ２年度	Ｒ３年度	Ｒ４年度	Ｒ５年度
体育館	アリーナ	50,675	27,584	30,503	43,282	46,291
	トレーニング場	56,014	28,828	24,330	33,095	41,587
	体育室	20,609	13,346	10,855	14,811	17,301
	会議室	3,549	1,058	2,332	2,654	3,955
	合計	130,847	70,816	68,020	93,842	109,134
野球場		19,542	6,227	8,943	9,639	9,951
テニスコート		27,530	18,323	19,426	20,797	19,196
陸上競技場		40,399	17,399	18,273	26,602	27,550
合計		218,318	112,765	114,662	150,880	165,831

資料４

（３）新井田公園　　単位：人

	Ｒ元年度	Ｒ２年度	Ｒ３年度	Ｒ４年度	Ｒ５年度
新井田インドアリンク	61,643	53,936	46,584	62,715	67,142
テニスコート	5,514	2,102	2,727	0	11,372
多目的広場	11,053	5,424	10,358	9,304	8,724
合計	78,210	61,462	59,669	72,019	87,238

（４）屋内トレーニングセンター　　単位：人

	Ｒ元年度	Ｒ２年度	Ｒ３年度	Ｒ４年度	Ｒ５年度
主練習場・投球練習場	33,407	30,412	20,710	31,404	32,877
トレーニング室	55,976	29,505	23,177	29,803	37,692
会議室	3,297	954	1,081	1,301	2,183
合計	92,680	60,871	44,968	62,508	72,752

（５）南部山健康運動公園　　単位：人

		Ｒ元年度	Ｒ２年度	Ｒ３年度	Ｒ４年度	Ｒ５年度
体育館	アリーナ	30,930	21,602	18,694	25,273	33,685
	トレーニング室	33,830	17,475	15,538	22,597	26,393
	水泳プール	27,051	19,070	16,707	19,029	23,217
	研修室	571	228	216	201	345
	合計	92,382	58,375	51,155	67,100	83,640
多目的広場		4,729	2,425	3,889	5,098	3,712
合計		97,111	60,800	55,044	72,198	87,352

資料４

（６）南郷カッコーの森エコーランド　　単位：人

		Ｒ元年度	Ｒ２年度	Ｒ３年度	Ｒ４年度	Ｒ５年度
体育館	アリーナ	15,512	10,842	7,742	13,210	16,656
	トレーニング室	10,150	7,228	5,880	7,235	9,426
	会議室	190	0	0	70	90
	合計	25,852	18,070	13,622	20,515	26,172
野球場		5,218	3,772	3,830	5,250	5,461
水泳プール		28,016	18,616	17,716	21,750	28,215
屋内運動場	運動場	22,450	13,668	13,084	17,115	18,239
	会議室	560	264	285	127	195
	合計	23,010	13,932	13,369	17,242	18,434
陸上競技場		11,185	4,015	8,218	8,979	10,152
テニスコート		5,138	3,809	4,176	5,146	5,583
相撲場		0	0	0	0	0
エコーランド	バンガロー	982	0	168	236	433
	エコーステージ	450	0	15	0	380
	茶室	428	23	26	100	44
	合計	1,860	23	209	336	857
合計		100,279	62,237	61,140	79,218	94,874

（７）多賀多目的運動場　　単位：人

		Ｒ元年度	Ｒ２年度	Ｒ３年度	Ｒ４年度	Ｒ５年度
天然芝競技場		38,312	14,618	18,233	27,809	38,665
人工芝競技場		51,302	39,911	36,150	52,916	56,889
多目的広場	広場１	10,085	2,215	2,606	5,277	6,736
	広場２	8,291	2,275	1,915	3,273	4,901
	合計	18,376	4,490	4,521	8,550	11,637
管理棟	会議室１	342	353	272	274	397
	会議室２	4,747	4,254	4,201	3,962	3,994
	調理室	453	420	414	387	412
	更衣室	3,042	2,953	3,332	3,683	3,879
	審判員控室	312	84	91	96	114
	合計	8,896	8,064	8,310	8,402	8,796
合計		116,886	67,083	67,214	97,677	115,987

資料４

・参考１：市内体育館の利用者数の推移及び令和５年度の利用率

利用者数（単位 人）及び利用率（単位 %）

	Ｒ元年度	Ｒ２年度	Ｒ３年度	Ｒ４年度	Ｒ５年度	利用率
八戸市体育館	177,753	107,363	102,813	135,585	165,105	85.8
東体育館	130,847	70,816	68,020	93,842	109,134	80.8
南部山体育館	92,382	58,375	51,155	67,100	83,640	78.2
南郷体育館	25,852	18,070	13,622	20,515	26,172	67.7

※利用率＝年間利用時間÷年間開館時間

・参考２：市内水泳プールの利用者数の推移

利用者数（単位 人）

	Ｒ元年度	Ｒ２年度	Ｒ３年度	Ｒ４年度	Ｒ５年度
長根公園水泳プール	7,836	6,859	7,570	4,930	9,936
南部山温水プール	27,051	19,070	16,707	19,029	23,217
南郷屋内温水プール	28,016	18,616	17,716	21,750	28,215

八戸市体育施設整備に関する基本方針

（平成31年3月29日策定）

八戸市体育施設整備検討委員会から平成31年２月22日に提出を受けた、「八戸市体育施設整備の基本方針に関する意見書」を踏まえ、「八戸市体育施設整備に関する基本方針」を定め、体育施設を総合的かつ計画的に管理していくこととする。

なお、同基本方針については、今後社会情勢の変化に伴い、変更の必要性が生じた場合は、見直しを図っていくものとする。

体育施設の総合的かつ計画的な管理に関する基本方針

基本方針１　八戸市体育館の建て替えに向けた基本構想を早期に策定する

八戸市体育館は、市内体育施設の中で最も多い利用者数を抱える施設であることや、八戸圏域連携中枢都市圏内において最も規模の大きい体育館であり、同規模の施設がないことなどから、建て替えについて最重点で取り組むこととし、次の点を考慮し、早期に基本構想の策定に着手する。

・八戸圏域連携中枢都市圏内においては、コンベンションや大規模大会等を開催できるような施設がないため、圏域内の中核を担う体育施設となるよう検討する。
・他都市において、体育館を建て替えする際には、他の体育施設を機能集約している例があることから、当市においても他の老朽化した施設との統廃合（複合施設化）を検討する。
・体育館の建て替えに当たっては、利用者の利便性を確保するため、現体育館を使用しながら工事を行えるよう、長根公園内の別な場所への配置を検討する。

基本方針２　市民が安全に利用できるよう予防保全の実施と長寿命化を図る

体育施設の一部は、災害時の指定避難所となっている施設もあることから、それらの施設の保全については優先的に行い、その他の施設についても、迅速かつ適切に改修・保全等の措置を講じ、市民の安全を確保する。

また、施設のライフサイクルコスト縮減に向けて、予防保全の視点に立った維持管理を実施していくため、定期点検等を適切に実施するとともに、点検・診断結果に基づく施設の状態を詳細に把握・蓄積し、緊急性のあるものについては迅速に対応していく。

多くの市民が利用している施設であるか、防災上の拠点施設であるかなどの施設の特性を考慮しながら、優先順位の高いものから計画的に、耐震化や防災力の向上を図り、地震や災害に耐えうる安全・安心な体育施設等の維持に努める。

長寿命化計画を策定し、個別の体育施設ごとに更新か修繕かを選択するとともに、維持管理にかかる費用の平準化を図る。

体育施設の維持管理費は施設の老朽化に伴い増加してきている一方で、維持管理費に占める利用料金収入は19%程度となっている。利用料金収入は貴重な財源であるが、近年においては料金改定を行っていないため、定期的に他都市の状況等を調査し、改定について検討する。

基本方針３　既存施設の有効活用・統廃合による総量の維持・適正化を図る

減少傾向にある人口や、少子高齢化等の人口動態の変化に対応した体育施設の規模や配置の適正化を実現するため既存施設を有効活用するほか、異なる機能を持つ施設の複合化や、類似施設の集約化等についても、必要な市民サービスの確保にも十分配慮しながら検討しつつ、今後予想される人口減少を見据えた総量の適正化を図っていく。

施設の整備に当たっては、連携中枢都市圏内の町村とも連携して、広域的な視点で施設の更新や統廃合についての検討を行い、特に更新に当たっては、単に同規模で更新するのではなく、利用者数等の見込みに応じた適正な規模への転換を検討する。

基本方針４　市民のニーズや時代に適合するような施設の質の向上を図る

既存の体育施設は、バリアフリー化等の安全対策など、誰でも使いやすい施設となっているとはいえないことから、市民のニーズや時代に適合した施設整備を進め、競技団体や利用者の意見要望を把握し、利用者目線に立った施設を目指す。

また国際大会等の開催が想定される施設については、海外からの来場者にも配慮した施設整備を行う。

基本方針５　スポーツによるまちづくりの視点による施設整備の推進を図る

スポーツによるまちづくりを推進している当市にとって、東北フリーブレイズやヴァンラーレ八戸FC、青森ワッツなどのプロスポーツチームの活躍は、市民に元気や希望を与える貴重な地域資源となっていることから、地元プロスポーツチームが今後も継続的に活動でき、さらに観戦者にも配慮した施設整備を行う。

また、競技種目が多様化する中においてすべての競技に対応することは困難であることから、八戸市の文化として根付いているスケート競技やレスリング競技など、地域特性を考慮した施設整備を行う。

基本方針６　長根公園内の体育施設の移転を見直して公園の整備を行う

平成25年２月に策定した「長根公園再編プラン」において、野球場、プール、弓道場については、代替施設の確保ができた段階で公園外に機能を移転する予定としているが、社会情勢の変化などに伴い、必要に応じて同プランの見直しを図っていくものとしている。

現在、八戸市体育館の耐震診断結果や人口減等、当時の状況から社会情勢が変化していること、体育施設の機能移転は新たな用地の確保や、道路等のインフラ整備も併せて必要であり、財源の確保等課題も多いことから、長根公園再編プランで予定されている体育施設の機能移転については次の点を考慮し見直す。

・平成30年11月９日に国の認定を受けた「第３期八戸市中心市街地活性化基本計画」において、中心市街地のエリアが長根公園まで拡大されていることから、長根公園内における体育施設の再整備にあたっては、長根屋内スケート場や既存体育施設と、中心市街地のはっち、マチニワ・新美術館など文化施設との回遊性の向上につながるような整備を行う。
・長根公園内体育施設で複数の大会が開催された場合、駐車スペースの不足が懸念されていることから、周辺の民間駐車場の利用促進も含めた一体的な対策を講じる。
・団体競技の主な移動手段である大型バスの通行が円滑に出来るよう配慮した動線を計画する。

各施設の管理に関する基本方針

体育施設の総合的かつ計画的な管理に関する基本方針に基づき、各体育施設の管理に関する基本方針を以下のとおり定める。

（１）長根公園

①八戸市体育館

・既存施設を使用しながら、公園内の別な場所に建て替えを行う。

・建て替えの際は、他の体育施設の機能集約を検討する。

②長根公園野球場

・長根公園再編プランで予定されている公園外への移転は見送り、利用者の安全確保を考慮した改修・修繕を行う。

・スタンド部分については、改修等を行い、長寿命化を図る。

③八戸市武道館

・他都市を例に建て替え後の体育館への機能集約を検討する。

・オリンピックメダリストの顕彰方法については別途検討する。

④八戸市相撲場

・観客席の階段幅が狭く、急勾配であるため安全上問題があることから、改修により対応する。

⑤弓道場

・長根公園再編プランで予定されている公園外への移転は見送り継続利用を基本とし、建て替え後の体育館への機能集約を検討する。

⑥長根公園水泳プール

・継続利用を基本とするが、体育館の建て替えに合わせて移築又は機能集約を検討する。

⑦スポーツ研修センター

・既存プールの継続利用の間は同施設も継続して利用するが、長根屋内スケート場内に会議室機能があり、スポーツ研修センターの機能を補完できるため、プールが移築又は機能集約される場合はそれにあわせて廃止を検討する。

⑧長根公園パイピングスピードスケートリンク

・屋内スケート場完成後は、施設を廃止する。整備費用や維持管理費用等コスト面での課題があることから、施設の利活用は行わないこととする。

⑨長根公園パイピングホッケーリンク

・アイスホッケー等の練習の場として利用されていることから、施設が利用可能な限り継続する。

⑩長根屋内スケート場

・国際大会の開催に備え、海外からの来場者にも配慮した施設整備を進める。

（２）東運動公園

①東体育館

・指定避難所としての機能を有していることから、優先的に改修を行う。

・改修する際は、冷房設備の導入や、バリアフリーへの対応を検討する。

②東運動公園野球場

・管理棟・スタンド等の老朽化が著しいため、利用者の安全確保を考慮した改修・修繕を行う。

③東運動公園陸上競技場

・管理棟にはトイレが無く、シャワー室も使用不能となっており利用者が不便を感じていることから、機能の向上を図る改修を行う。

④東運動公園テニスコート

・管理棟・スタンド等の建築物の改修・修繕を行い、人工芝の張替えを計画的に行う。

（３）南部山健康運動センター

①南部山健康運動センター体育館

・指定避難所としての機能を有していることから、優先的に改修を行う。

・改修する際は、冷房設備の導入や、バリアフリーへの対応を検討する。

②南部山健康運動センタープール

・プールの事故は、生命に関わる重大な事故につながる恐れがあるため、体育施設の中でも維持管理に特に配慮する。

③南部山健康運動センター多目的広場

・利用者が安全に利用できるよう適切に維持管理を行っていく。

（４）新井田公園

①新井田インドアリンク

・観戦時の寒さへの対策や多目的トイレの設置など、来場者へ配慮した改修内容を検討する。

・アジアリーグアイスホッケーの開催や、海外のアイスホッケーチームの合宿等が行われていることから、それらの受け入れを想定した施設整備について検討する。

②新井田公園多目的広場

・利用者が安全に利用できるよう適切に維持管理を行っていく。

③新井田公園テニスコート

・人工芝コートへの改修を検討し、機能の向上に努める。

（５）南郷体育施設

①南郷体育館

・指定避難所としての機能を有していることから、優先的に改修を行う。

・改修する際は、冷房設備の導入や、バリアフリーへの対応を検討する。

②南郷野球場

・平成25年の改修によって施設の機能向上が図られた結果、大会等でも使用されるようになっていることから、今後も適切に維持管理を行っていく。

③南郷陸上競技場

・平成29年度のインフィールド改修によってラグビー競技が開催可能となり、31年度には海外のチームの合宿を行う予定となっていることから、今後も適切に維持管理を行っていく。

④南郷屋内運動場

・建築物の改修・修繕を行うとともに、クレー舗装の機能維持を図っていく。

⑤南郷屋内温水プール

・プールの事故は、生命に関わる重大な事故につながる恐れがあるため、体育施設の中でも維持管理に特に配慮する。

⑥南郷テニスコート

・今後も維持管理を徹底し、適切に維持管理を行っていく。

（６）屋内トレーニングセンター

①屋内トレーニングセンター

・指定避難所としての機能を有していることから、優先的に改修を行っていく。

（７）多賀多目的運動場

①多賀多目的運動場天然芝球技場

・津波発生時の一時避難施設として長期的に利用できるよう適切に維持管理をしていく。

・Jリーグが求める施設要件に対応していく。

②多賀多目的運動場人工芝球技場

・点検等を継続して実施し、適切に維持管理を行っていく。

③多賀多目的運動場多目的広場

・多目的広場は、大会時には駐車場にも利用される施設であるとともに、地域住民の交流の場として利用されていることから、安心して利用できるよう適切に維持管理を行っていく。

八戸市体育館の建て替えに関する基本計画の概要について

1　これまでの経緯

時期	主な内容
平成31年３月	八戸市体育施設整備に関する基本方針策定 ※八戸市体育館の建て替えについては、次のことを考慮し、早期に基本構想の策定に着手することを規定 ・八戸圏域連携中枢都市圏内の中核を担う体育施設となるよう検討 ・武道館、弓道場及びプールとの複合施設化を検討 ・長根公園内の別な場所への配置を検討
令和４年11月	八戸市体育館の建て替えに関する基本構想策定
令和６年２月	八戸市体育館の建て替えに関する基本計画策定

2　八戸市体育館の建て替えに関する基本計画の概要

（1）建て替えに関する基本的なコンセプト

する・みる・ささえるスポーツ活動を促し、スポーツのある日常生活を支えるための多様な世代の誰もがスポーツに親しめるスポーツ振興拠点とし、主な日常時の利用はスポーツ活動とするが、非日常時はスポーツ施設としてだけではなく、各種コンベンションの開催等多目的利用が可能な施設となるよう必要な機能を整備する。

（2）フロアプランの考え方

①メインアリーナ

バスケットボールコート３面分の面積とし、観客席は1,500席程度を想定

②サブアリーナ

バスケットボールコート１面分の面積とし、観客席は500席程度を想定

③武道場

柔・剣道場ともに試合場２面分の面積とし、観客席はそれぞれ50席程度を想定

④プール

８レーンの屋内25m公認プールとし、観客席の整備を想定

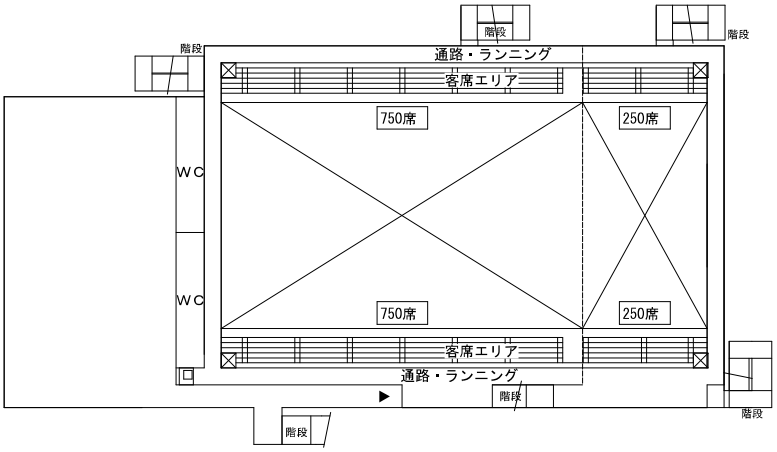
⑤その他

トレーニングルーム、会議室、キッズスペース等の整備を想定

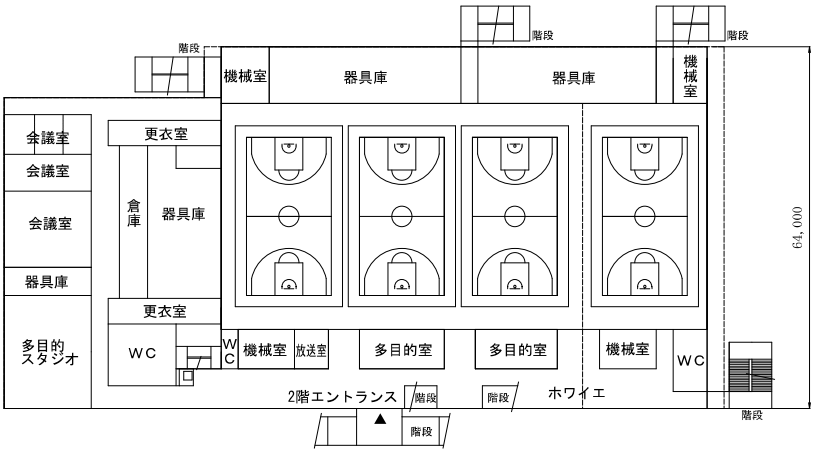
(3)フロアプラン案

①アリーナ内オフィシャルテーブル及びチームベンチエリアの幅を1m 等としたもの

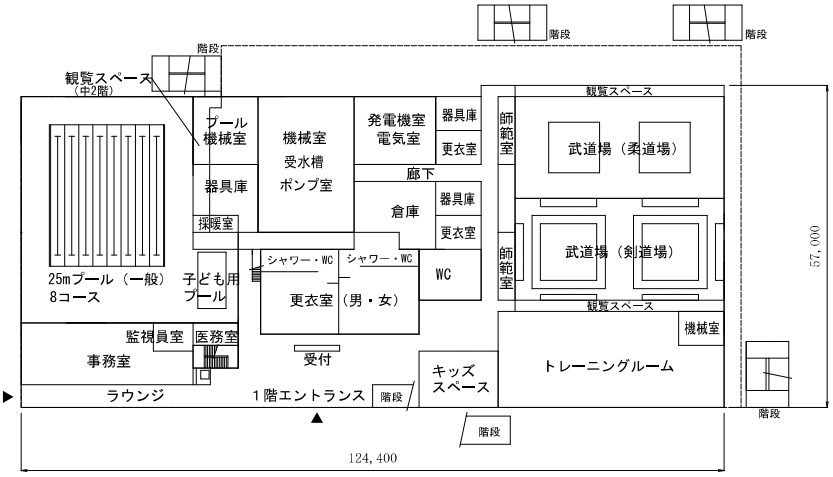
３階



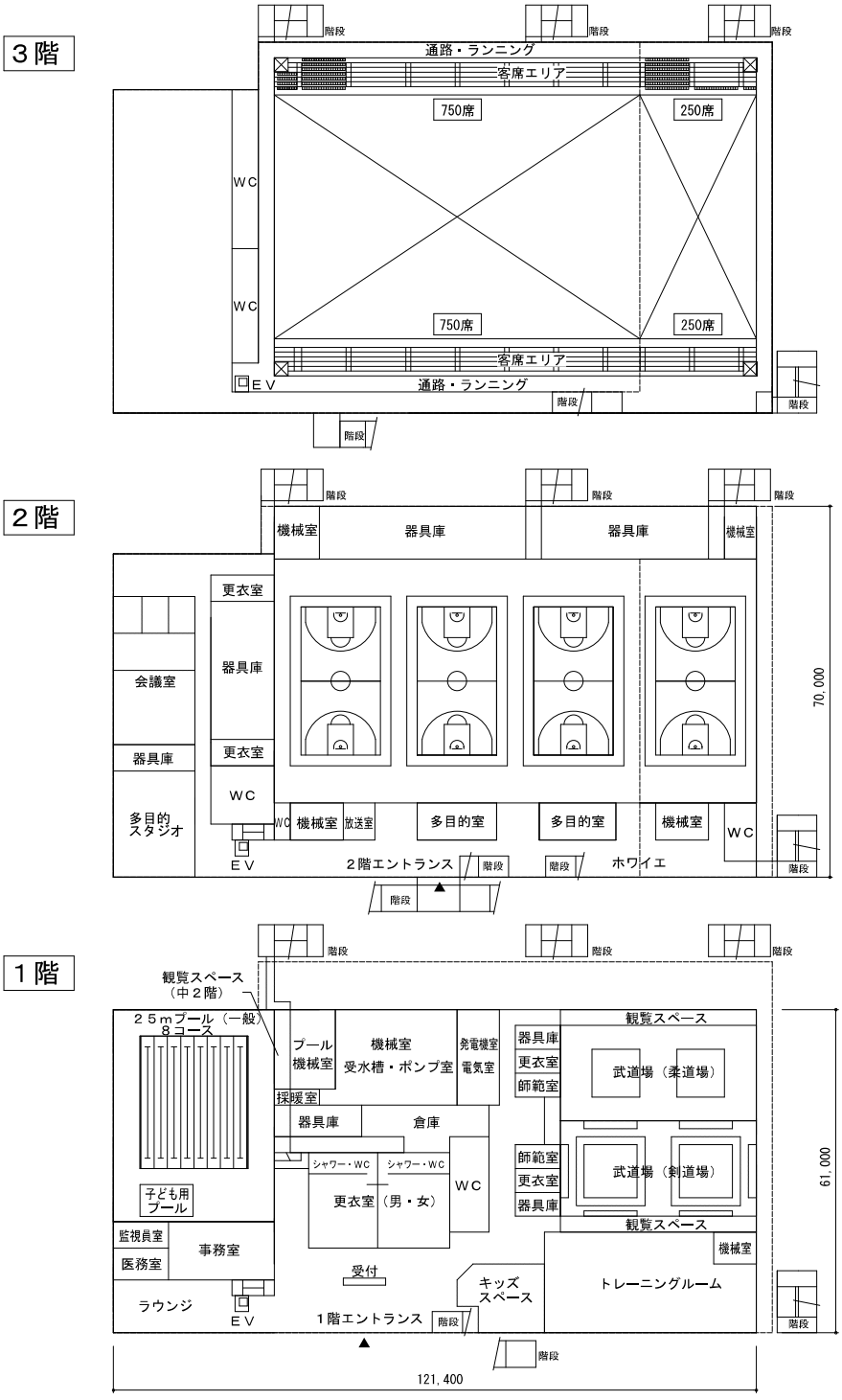
２階



１階



②アリーナ内オフィシャルテーブル及びチームベンチエリアの幅を3m 等としたもの



（４）構造及び設備計画

①建築構造計画

指定避難所としての役割を検討していることを踏まえ、「地域防災計画において避難所として指定された施設」に相当する耐震性能を確保することを目標に、耐震安全性の分類は、構造体をⅡ類、非構造部材をＡ類、建築設備を乙類とすることを想定する。

②建築設備計画

エネルギー需要の低減及び再生可能エネルギーの導入を図ることとし、ZEB Oriented 以上の認定を目指すことを想定する。

・ZEB ランクの定義（環境省「ZEB PORTAL」）

ランク	定量的な定義
ZEB Oriented	一次エネルギー消費量を 30%以上削減すること等

（５）概算事業費の想定

①体育館本体概算建設費

・アリーナ内オフィシャルテーブル及びチームベンチエリアの幅を1m 等としたもの
124 億 3,000 万円（延床面積　17,100 ㎡）

・アリーナ内オフィシャルテーブル及びチームベンチエリアの幅を3m 等としたもの
135 億 9,000 万円（延床面積　18,400 ㎡）

②体育館本体以外の概算事業費

設計業務に関する概算事業費	4 億 5,000 万円
工事監理業務に関する概算事業費	1 億 7,000 万円
既存施設の解体撤去に関する概算事業費	11 億円
外構等整備に関する概算事業費	10 億 2,000 万円

③長根屋内スケート場を除く長根公園の概算維持管理・運営費（光熱水費除く）

体育館本体概算維持管理費	1 億 3,000 万円/年（事業者アンケートの平均値） （最高 1 億 9,000 万円/年　最低 6,700 万円/年）
体育館本体概算運営費	1 億 8,000 万円/年（事業者アンケートの平均値） （最高 2 億 5,000 万円/年 最低 1 億 1,000 万円/年）
その他施設の概算維持管理・運営費	5,000 万円/年

（６）財源の想定

国（国土交通省）の社会資本整備総合交付金（補助率１/２）、公共事業等債及び市が負担する一般財源を想定しており、この他にも、ネーミングライツや企業版ふるさと納税等の活用により、一般財源の負担軽減に努める。

（７）事業手法案の選定

定量的な評価であるＶＦＭの試算及び定性的な評価から、ＰＦＩ-ＢＴＯ方式の一括払い型とすることを想定する。

３　今後のスケジュール案

時期	主な内容
令和６年度	・新体育館の設計、建設及び維持管理・運営業務に関する実施方針案及び要求水準書案の作成及び公表
令和７年度	・実施方針案及び要求水準書案に関する設計、建設及び維持管理・運営希望事業者との個別対話 ・実施方針及び要求水準書の策定
令和８年度～	・入札公告 ・設計、建設及び維持管理・運営事業者の選定 ・契約締結 ・設計 ・建設
令和 13 年度	・供用開始

※実施方針及び要求水準書

実施方針	事業対象、事業手法、事業期間、事業スケジュール、入札参加資格要件等を示したもの
要求水準書	事業者が満たすべき設計、建設及び維持管理・運営に関するサービス水準等を示したもの